

## グローバル・ソブリン・オープン (資産成長型)

追加型投信／内外／債券

愛称：グロソブN

第3期（決算日：2016年11月17日）

作成対象期間  
(2015年11月18日～2016年11月17日)

第3期末（2016年11月17日）	
基準価額	10,652円
純資産総額	2,855百万円
騰落率	-9.6%
分配金合計	0円

### 受益者のみなさまへ

投資家のみなさまにはご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
 グローバル・ソブリン・オープン（資産成長型）は、このたび第3期の決算を行いました。  
 当ファンドは、世界主要先進国の、信用力の高いソブリン債券を実質的な主要投資対象として、国際分散投資を行い、安定的な利子収入の確保と、金利・為替見通しに基づく運用戦略により、高水準かつ安定的なインカムゲインの確保とともに信託財産の十分な成長をはかることを目的として運用を行います。  
 当期は、保有している全ての主要国通貨が対円で下落したことなどがマイナスに作用し、基準価額は期首に比べ下落し、ベンチマークに対してアンダーパフォームしました。ここに運用状況をご報告申し上げます。  
 今後については、相対的に金利の高い米国などの組入比率を多めとし、投資通貨上昇による収益や利回りの獲得を目指す方針です。また、金融緩和が長期化する可能性が高いユーロ圏や日本をベンチマークに対して少なめの組入比率とし、保有債券の年限を長めとすることで、ポートフォリオのインカムゲイン向上をめざす方針です。  
 今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記〈照会先〉ホームページにアクセスし、「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、ファンドの詳細ページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

### 〈照会先〉

- ホームページアドレス  
<http://www.am.mufg.jp/>
- お客さま専用フリーダイヤル  
 0120-151034  
 （受付時間：営業日の午前9時～午後5時、  
 土・日・休日・12月31日～1月3日を除く）



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号

## ファンドマネージャーのコメント

おかげさまで、当ファンドは2016年11月17日に第3期の決算を行いました。ここに当期の運用状況をご報告申し上げます。

### ■運用のポイント

それでは、当期の運用で主眼に置いたポイントをご説明させていただきます。

#### ➤米国の組入比率を多めとしました

- ・先進国の中で経済環境が相対的に良好で、今後利上げが予想されている米国の組入比率をベンチマークに対して多めとしました。一方で、金融緩和の継続が見込まれるユーロ圏や日本の組入比率は引き続きベンチマークに対して少なめとしました。また、豪ドル、カナダ・ドル、英ポンドなどの一部において、対円で為替ヘッジを行う局面もありました。

#### ➤保有債券の年限を米国では短めに、欧州・日本では長めとしました

- ・米国では、今後政策金利の引き上げが予想されていることから、保有債券の年限を短くしました。一方、金融緩和政策が続く欧州・日本では金利の上昇余地が限定的になると考え、保有債券の年限を長めとすることで、利回り改善に努めました。英国では、欧州連合（EU）離脱が決定された影響から、今後景気が減速する可能性があると考え、年限を長期化しました。

当期では、主要な投資先で債券の利子収入を享受したことや金利低下による債券価格の上昇がプラスに寄与したものの、保有している全ての投資通貨が対円で下落したことなどから、基準価額は期首に比べ9.6%の下落となりました。

### ■投資環境見通しと今後の運用方針

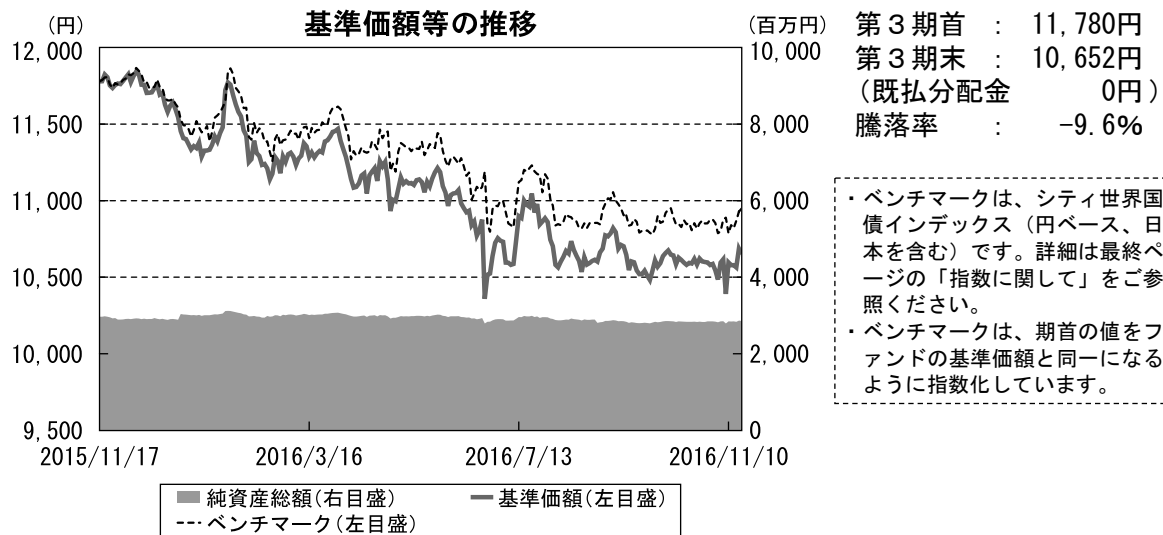
- ・米国では、金融政策の正常化に向けた追加利上げが実施される可能性が高いとみています。2017年には、新政権による経済支援政策も期待されますが、賃金上昇は当面緩やかで、インフレは抑制された状況が続くとみられることから、利上げペースはゆっくりとしたものになる見込みです。一方、金融緩和が継続される見込みの欧州や日本では、金利水準は低位で推移する可能性が高いと考えています。英国では、EU離脱が決定された影響などから景気は次第に減速すると考えております。また、通貨の観点では、米国で共和党が上下院の過半数を獲得したことにより議会での経済政策運営が進展しやすくなったことや、景気の相対的な強さや金融政策面での方向性の違いにより、緩やかながらも米ドル高が継続すると考えています。一方、日本では、日銀による10年金利を低くコントロールする金融政策などにより緩和的な金融環境が続くことが予想され、円は、相対的に軟調な推移が見込まれます。
- ・こうした点を踏まえ、当ファンドの運用においては、低金利環境が持続するなか利回りを追求する動きが継続するという見通しのもと、相対的に金利の高い米国などの組入比率を多めとし、投資通貨上昇による収益や利回りの獲得を目指す方針です。また、低金利が継続しているユーロ圏や日本では、金融緩和が長期化するとみられることから、ユーロ圏や日本をベンチマークに対して少なめの組入比率とし、保有債券の年限を長めとすることで、ポートフォリオのインカムゲイン向上をめざす方針です。

## 運用経過

### 当期中の基準価額等の推移について

（第3期：2015/11/18～2016/11/17）

基準価額の動き	基準価額は期首に比べ9.6%の下落となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-7.1%）を2.5%下回りました。



### 基準価額の主な変動要因

下落要因	保有している全ての主要国通貨が対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
------	--

1 万口当たりの費用明細

（2015年11月18日～2016年11月17日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 150	% 1.344	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× （期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	( 93)	(0.835)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 51)	(0.456)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 6)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.012	(b) その他費用＝期中のその他費用÷ 期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 1)	(0.008)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	151	1.356	
期中の平均基準価額は、11,138円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

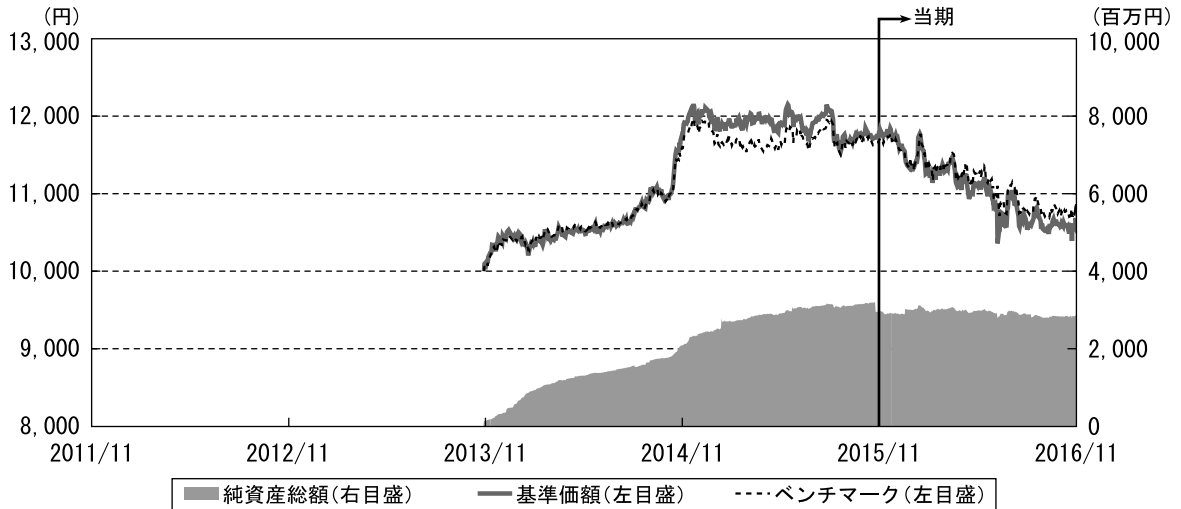
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2011年11月17日～2016年11月17日)



- ・ベンチマークは、設定時の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	—	—	2013/11/18	2014/11/17 決算日	2015/11/17 決算日	2016/11/17 決算日
基準価額（円）	—	—	10,115	11,768	11,780	10,652
期間分配金合計（税込み）（円）	—	—	—	0	0	0
基準価額騰落率	—	—	—	16.3%	0.1%	-9.6%
ベンチマーク騰落率	—	—	—	14.9%	0.7%	-7.1%
純資産総額（百万円）	—	—	136	2,089	2,966	2,855

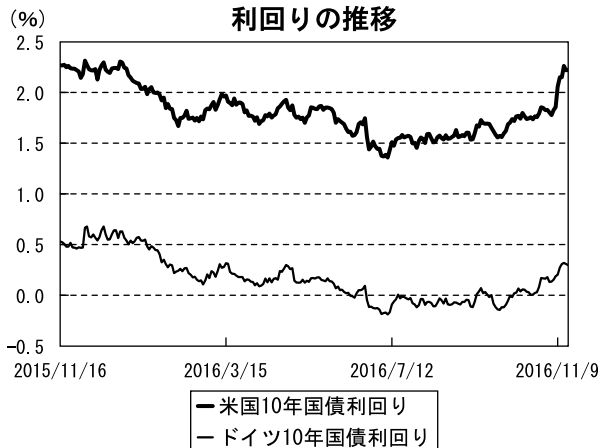
・騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

ベンチマークは、シティ世界国債インデックス（円ベース、日本を含む）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

（第3期：2015/11/18～2016/11/17）

◎債券市況 米国、ドイツ、日本の10年国債利回りは低下しました。



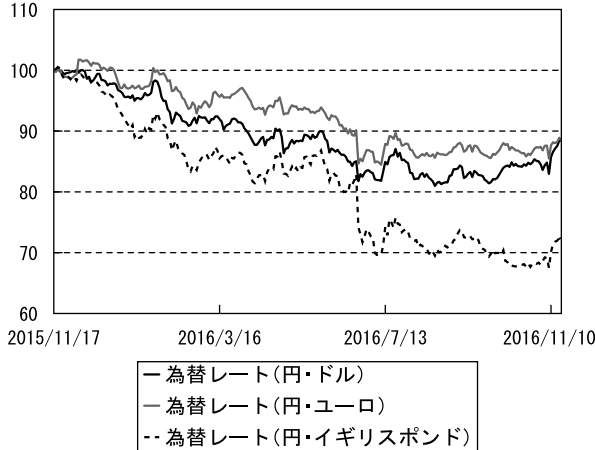
（注）米国およびドイツの10年国債利回りは、現地前営業日の数値を用いています。



- ・米国では、米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げや米ドル高などの影響で先行きの景気に対する不透明感が高まったことや、追加利上げ観測が後退したことなどから、米国10年国債利回りは低下しました。しかし、その後、米大統領選挙の結果を受け新たな経済政策への期待が高まったことなどから、利回りは低下幅を縮小しました。
- ・ユーロ圏では、欧州中央銀行（ECB）が追加金融緩和策を決定したことや、英国国民投票で欧州連合（EU）離脱が支持されリスク回避傾向が強まったことなどから、ドイツ10年国債利回りは低下しました。しかし、その後、ECBによる資産買い取りが縮小されるとの観測や米国長期債利回りの上昇などから、利回りは低下幅を縮小しました。
- ・日本では、日本銀行がマイナス金利を導入するなど追加の金融緩和を実施したことなどから、日本10年国債利回りはマイナスまで低下しました。2016年9月の金融政策決定会合にて、日本10年国債利回りを低位で安定させる政策を打ち出しましたが、世界的な金利上昇の影響などから、期末にかけて利回りはプラスまで上昇しました。

◎為替市況 米ドル、ユーロ、英ポンドは円に対して下落しました。

為替市況の推移  
(期首を100として指数化)



- ・米ドルは、急速なドル高に対する懸念が広がりFRBによる利上げ期待が後退したことなどから、2016年6月にかけて円に対して下落しました。しかし、その後、個人消費を中心に景気が底堅さを示したことや、米大統領選挙の結果を受け新たな経済刺激策に対する期待が高まったことなどから、円に対する下落幅を縮小しました。
- ・ユーロは、ECBによる追加の金融緩和政策の実施や英国国民投票でEU離脱が支持されたこと、域内主要各国における政治イベントに対する警戒感などから、円に対して下落しました。
- ・英ポンドは、英国国民投票でEU離脱が支持され先行きの景気に対する不透明感が強まったことや、英国中央銀行(BOE)が資産買い取りの再開など金融緩和政策を打ち出したことなどを背景に、円に対して下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜グローバル・ソブリン・オープン（資産成長型）＞

・グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ちました。

＜グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド＞

※委託会社合併に伴う、データ基準統一のため、組入比率に関して、未収利息等を除いております。

- ・基準価額は期首に比べて8.5%の下落となりました。
- ・世界主要先進国の国債、政府機関債等に加えカナダ、オーストラリアなどの州政府債を主要投資対象とし、信用格付けが高い（原則としてA格以上）債券を高位に組み入れました。

◎通貨戦略（国別配分） 米国の組入比率を多めとしました。

- ・先進国の中で経済環境が相対的に良好で、今後利上げが予想されている米国の組入比率をベンチマークに対して多めとしました。一方で、金融緩和の継続が見込まれるユーロ圏や日本の組入比率は引き続きベンチマークに対して少なめとしました。また、豪ドル、カナダ・ドル、英ポンドの一部において、対円での為替ヘッジを行う局面もありました。

◎債券戦略 保有債券の年限を米国では短めに、欧州・日本では長めとしました。

- ・米国では、今後政策金利の引き上げが予想されていることから、保有債券の年限を短くしました。一方、金融緩和政策が続く欧州・日本では金利の上昇余地が限定的になると考え、保有債券の年限を長めとすることで、利回り改善に努めました。英国では、EU離脱が決定された影響から、今後景気が減速する可能性があると考え、年限を長期化しました。
- ・上記のような運用の結果、主要な投資先で債券の利子収入を享受したことや金利低下による債券価格の上昇がプラスに寄与したものの、保有している全ての主要国通貨が対円で下落したことなどから、基準価額の下落に作用しました。

（ご参考）

ポートフォリオ状況

期首（2015年11月17日）

	マザーファンド	ベンチマーク
平均終利	1.59%	—
平均直利	4.06%	—
デュレーション	7.7	7.3



期末（2016年11月17日）

	マザーファンド	ベンチマーク
平均終利	1.42%	—
平均直利	3.66%	—
デュレーション	7.8	7.7

- ・組入比率は未収利息等を除いております。
- ・平均終利（複利最終利回り）とは、償還日までの利子とその再投資収益および償還差損益も考慮した利回り（年率）をいいます。
- ・平均直利（直接利回り）とは、利子収入部分にのみ着目した利回り。債券価格に対する利子の割合（年率）をいいます。

\*デュレーションとは：

金利が変動したときの債券価格の変動性を示すもので、債券に投資した場合の平均投資回収年限を表す指標でもあります。例えば、デュレーションの値が「5」の債券は、金利が1%上昇（低下）すると債券価格がおおよそ5%下落（上昇）します。（他の価格変動要因がないと仮定した場合の例です。）  
 一般に、満期までの残存期間が長い債券や利率が低い債券ほど、デュレーションの値が大きく、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。



当該投資信託のベンチマークとの差異について

<グローバル・ソブリン・オープン（資産成長型）>

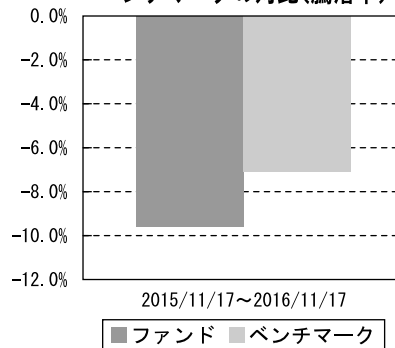
・基準価額は期首に比べ、9.6%の下落となり、ベンチマーク（騰落率-7.1%）とのカイ離は2.5%程度となりました。

<グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド>

・基準価額は期首に比べ、8.5%の下落となり、ベンチマーク（騰落率-7.1%）とのカイ離は1.4%程度となりました。

・上記の結果、世界的に債券価格が上昇（利回りは低下）するなか保有債券の年限を長めとしていたことがプラスに寄与した一方、円に対して下落率がおおきかったメキシコ・ペソなどを多めに保有していたことに加え、信託報酬など運用上の費用を計上したことなどがマイナスに作用し、ベンチマークに対してアンダーパフォーム（運用成果が下回る）しました。

基準価額(当ファンド)と  
ベンチマークの対比(騰落率)



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、利子・配当収入の中から分配金額を決定しますが、信託財産の十分な成長に資することに配慮して分配を行わないことがあります。この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第3期
	2015年11月18日～2016年11月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,834

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率は異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### <グローバル・ソブリン・オープン（資産成長型）>

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。

### <グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・為替市場では、米国で共和党が上下院の過半数を獲得したことにより議会での経済政策運営が進展しやすくなったことや、景気の相対的な強さや金融政策面での方向性の違いにより、緩やかながらも米ドル高が継続すると考えています。一方、日本では、日銀による10年金利を低くコントロールする金融政策などにより緩和的な金融環境が続き、円は、相対的に軟調な推移が見込まれます。
- ・債券市場では、米国では、金融政策の正常化に向けた追加利上げが実施される可能性が高いとみています。2017年には、新政権による経済支援政策も期待されますが、賃金上昇は当面緩やかで、インフレは抑制された状況が続くとみられることから、利上げペースはゆっくりとしたものになり、長期債利回りの上昇余地は限定的になると考えています。一方、金融緩和が継続される欧州や日本では、金利水準は低位で推移する可能性が高いと考えています。

#### ◎今後の運用方針

- ・通貨戦略（国別配分）では、相対的に金利の高い米国などの組入比率を多めとすることで、通貨上昇による収益の獲得をめざす方針です。
- ・債券戦略では、金融緩和が長期化する可能性が高いユーロ圏や日本をベンチマークに対して少なめの組入比率とし、保有債券の年限を長めとすることで、ポートフォリオのインカムゲイン向上をめざす方針です。
- ・為替市場の急激な変動に応じ、一時的に対円で為替ヘッジを行う場合があります。

## お知らせ

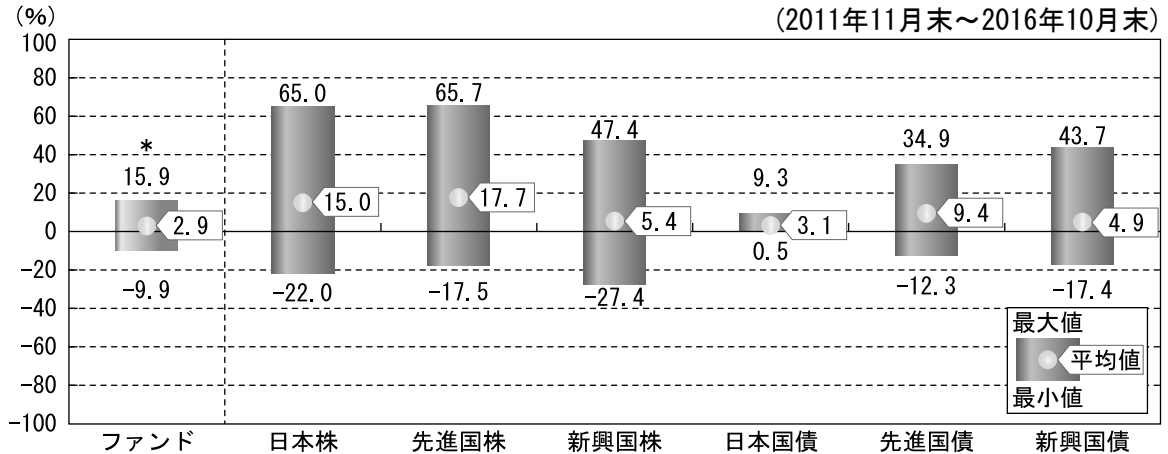
- ①信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。  
（2016年8月16日）
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	無期限（2013年11月15日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、高水準かつ安定的なインカムゲインの確保とともに信託財産の十分な成長をはかることを目的として運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券
	グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド	世界主要先進国の国債、政府機関債等（A格以上のもの）
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界主要先進国の、信用力の高いソブリン債券を主要投資対象とし、国際分散投資を行います。</li> <li>・安定的な利子収入の確保と、金利・為替見通しに基づく運用戦略により、収益の獲得を目指します。</li> </ul>	
分配方針	毎年11月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、利子・配当収入の中から分配金額を決定しますが、信託財産の十分な成長に資することに配慮して分配を行わないことがあります。	

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2011年11月から2016年10月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

\* ファンドについては2014年11月～2016年10月の同様の騰落率を表示したものです。

### ○各資産クラスの指数

- 日本株 : TOPIX (配当込み)
- 先進国株 : MSCIコクサイ・インデックス (配当込み)
- 新興国株 : MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
- 日本国債 : NOMURA-BPI (国債)
- 先進国債 : シティ世界国債インデックス (除く日本)
- 新興国債 : JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 当該投資信託のデータ

### 当該投資信託の組入資産の内容

（2016年11月17日現在）

#### 組入ファンド

（組入銘柄数：1銘柄）

ファンド名	第3期末 2016年11月17日
グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド	99.7%

・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

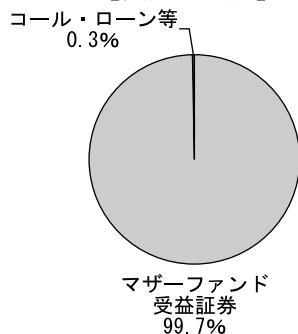
#### 純資産等

項目	第3期末 2016年11月17日
純資産総額	2,855,612,235円
受益権口数	2,680,904,898口
1万口当たり基準価額	10,652円

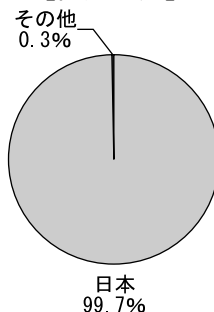
・当期中において  
追加設定元本は 712,139,116円  
同解約元本は 548,980,487円 です。

#### 種別構成等

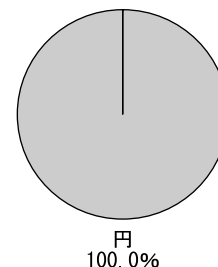
##### 【資産別配分】



##### 【国別配分】



##### 【通貨別配分】



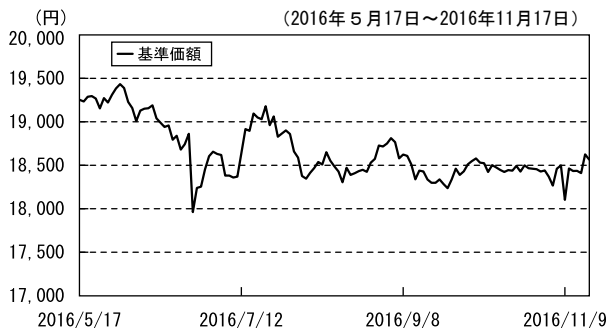
・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

（2016年11月17日現在）

## 組入上位ファンドの概要

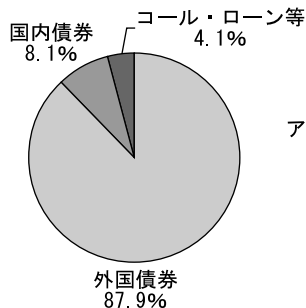
### グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド

#### 基準価額の推移

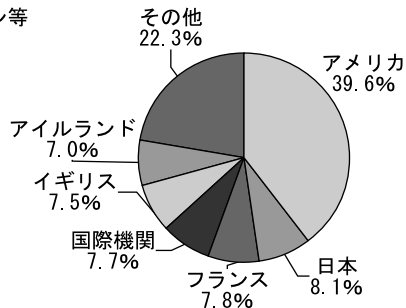


#### 種別構成等

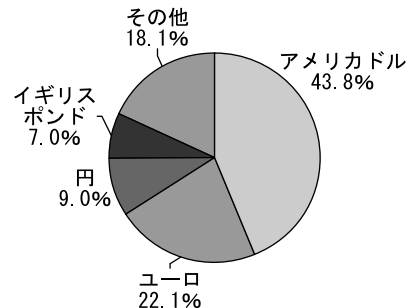
##### 【資産別配分】



##### 【国別配分】



##### 【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含まます。
- ・通貨別配分のグラフの値は為替ヘッジ考慮後の割合です。

#### 1万口当たりの費用明細

項目	第159期～第164期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用	1	0.004
( 保管費用 )	(1)	(0.004)
( その他 )	(0)	(0.000)
合計	1	0.004

作成期中の平均基準価額は、18,740円です。

#### 組入上位10銘柄

（組入銘柄数：110銘柄）

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	8.75 T-BOND 200815	債券	アメリカ	国債	5.3%
2	4.75 O.A.T 350425	債券	フランス	国債	4.4%
3	3.625 T-BOND 440215	債券	アメリカ	国債	3.4%
4	5.4 IRISH GOVT 250313	債券	アイルランド	国債	3.3%
5	8.125 T-BOND 190815	債券	アメリカ	国債	2.6%
6	8.875 T-BOND 190215	債券	アメリカ	国債	2.5%
7	8.75 T-BOND 200515	債券	アメリカ	国債	2.5%
8	第153回利付国債（20年）	債券	日本	国債	2.5%
9	8.75 T-BOND 170515	債券	アメリカ	国債	2.4%
10	5.5 BEL GOVT 280328	債券	ベルギー	国債	2.4%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

（2016年5月18日～2016年11月17日）

- （注）1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要については、3ページの注記をご参照ください。
- （注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- （注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 指数に関して

○ファンドのベンチマークである『シティ世界国債インデックス（円ベース、日本を含む）』について

シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスで、1984年12月末を100とする世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額比率で加重平均し、指数化したものです。

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

### MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

### NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

### シティ世界国債インデックス（除く日本）

シティ世界国債インデックス（除く日本）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

### JPMオルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMオルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信